

31 $\forall P'$: 質点; $\{h_1(P'; f; S') \mid f \in F_1 \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ})\}$ の元を P' の運動または P' の運動の歴史と呼ぶこととする。

32 $\{h_3(f; S', U') \mid f \in F_3 \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ}) \text{ and } (U' \text{ は電磁座標系網だ})\}$ の元を 電磁場の歴史または単に電磁場と呼ぶこととする。

33 $\{h_5(f; S', W') \mid f \in F_5 \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ}) \text{ and } (W' \text{ は重力座標系網だ})\}$ の元を 重力場の歴史または単に重力場と呼ぶこととする。

34 $\{h_4(P_1, \dots, P_n; f; S, U) \mid f \in F_{4,n}\}$ の元を 自然の可変的な部分の歴史と呼ぶこととする。35 空欄。

36 $h_0(P_1, \dots, P_n; S)$ and $h_5(G; S, W)$ を 自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶこととする。37 自然の可変的な部分の歴史全体の集合を \mathcal{H} と書くこととする。38 \mathcal{N} を $\mathcal{N} = N_{4,n}$ で定義する。39 \mathcal{F} を $\mathcal{F} = \mathbb{R}(\mathcal{N})$ で定義する。

40 $\mathcal{F} = F_{4,n}$ 41 \mathcal{M} を 次式で定義する。

$$\mathcal{M} \in \mathcal{H}(\mathcal{F}) \text{ and } [\forall f \in \mathcal{F}; \mathcal{M}(f) = h_4(P_1, \dots, P_n; f; S, U)]$$

42 \mathcal{N}' を $\mathcal{N}' = N_{01} \times (4 \cup N_{05}) \cup N_{2,n}$ で定義する。

43 $\forall i \in \mathcal{N}'$; $[\Psi_i$ を 次式で定義する。

$$\Psi_i \in \mathbb{R}(\mathcal{F}) \text{ and } \forall f \in \mathcal{F}; \Psi_i(f) = \hat{e}_6(i; f, G, \mu(P_1, \dots, P_n; I, J))]$$

44 $\forall f \in \mathcal{F}; [\mathcal{L}(f) \text{ によって次の文を表すことにする。 } \forall i \in \mathcal{N}'; \Psi_i(f) = 0]$

45 $\forall f \in \mathcal{F}; \mathcal{L}(f) \Leftrightarrow e_6(f, G, \mu(P_1, \dots, P_n; I, J))$

46 $\forall f \in \mathcal{F}; [\mathcal{M}(f) \text{ が可能だ}] \Leftrightarrow \mathcal{L}(f)$ 47 環境条件は真だ。

この理論は $T_5(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ に似ている。違いは、 T_6 の 11 12 13 および 14 17 29 33 に当たる部分が T_5 には無いことと、 T_6 の 16 20 22 28 30 および 32 36 42 43 45 に当たる部分が T_5 では少し異なることだけだ。